

『群論への第一歩』 正誤表

結城浩

© Hiroshi Yuki

<https://www.hyuki.com/group/pdf/errata-group.pdf>

2024年4月8日更新

目次

1	第1刷	2
1.1	2024-03-18: 第1刷: p.3: 下から8行目: より誤解が少ない表現に修正	2
1.2	2024-03-18: 第1刷: p.11: 1個目の「ちょっと一言」: 補足	2
1.3	2024-03-20: 第1刷: p.280: 10行目: 誤植	2
2	第2刷	2
2.1	2024-03-22: 第2刷: p.115: 4行目: 誤植	2
2.2	2024-03-22: 第2刷: p.119: 下から6行目: 誤植	2
2.3	2024-04-08: 第2刷: p.146: 下から8行目: 誤植	3

1 第1刷

1.1 2024-03-18: 第1刷: p.3: 下から8行目: より誤解が少ない表現に修正

誤: 有限個の元を持つ集合

正: 有限個の元からなる集合

1.2 2024-03-18: 第1刷: p.11: 1個目の「ちょっと一言」: 補足

誤:

集合が持つ元の個数は重要な情報です。たとえば、二つの有限集合 A と B について、もしも $|A| \neq |B|$ ならば、 $A = B$ になることは絶対にありません。すなわち、 $|A| = |B|$ であることは $A = B$ であるために必要な条件です。今後も、集合が持つ元の個数の話題がしばしば登場します。

正:

元の個数は重要な情報です。たとえば、もし有限集合 A と B について $|A| \neq |B|$ ならば、絶対に $A = B$ にはなりません。なお、 $A = \{1, 1, 1, 2, 2, 3\}$ のとき $|A| = 3$ です。この集合 A に属している元はあくまで $1, 2, 3$ ですので、たとえ重複して書かれていてもその分はカウントしません。

1.3 2024-03-20: 第1刷: p.280: 10行目: 誤植

誤: 群 \mathbb{Z} の置換表現 $\rho: \mathbb{Z} \rightarrow \mathbb{R}$ は、

正: 群 \mathbb{Z} の置換表現 $\rho: \mathbb{Z} \rightarrow S_{\mathbb{R}}$ は、

2 第2刷

2.1 2024-03-22: 第2刷: p.115: 4行目: 誤植

誤: $x + ((n - x) \bmod n) = \dots$

正: $x +_n ((n - x) \bmod n) = \dots$

2.2 2024-03-22: 第2刷: p.119: 下から6行目: 誤植

誤: で表すと、 $g^n \in H$ と $g^{-mq} \in H$ から、

正: で表すと、 $g^N \in H$ と $g^{-mq} \in H$ から、

2.3 2024-04-08: 第2刷: p.146: 下から8行目: 誤植

誤:

$$\log: x \times y \mapsto \log x \times \log y$$

正:

$$\log: x \times y \mapsto \log x + \log y$$